

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

お客様登録のお願い

商品をご購入いただいたお客様には、パイオニアホームページ「オーナーズリンク」でお客様登録・商品登録をされることをお勧めしております。

ご登録情報をもとに、お客様お一人お一人に合わせたきめ細かなサポート&サービス（専用ページなど）やお役立ち情報をご提供しております。

お手持ちのインターネット接続機器から弊社ホームページにアクセスいただき、ご登録手続きをお願いいたします。

< <https://car-users.pioneer.jp/> >

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2017

<KKGZ17H> <CRA5151-A>



carrozzeria

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意(警告を含む)しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止(やってはいけないこと)の内容です。		

AU-002-002

接続・取り付け

警告

本機は、DC12V⊖アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない
発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する
雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告

運転者は走行中に操作をしない
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない



思わぬ事故や火災、感電の原因となります。







雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。












接触禁止

	分解や改造をしない 交通事故や火災、感電の原因となります。
分解禁止	
	ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
強制	



	注意
	本機は車載用以外で使用しない 発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。
禁止	
	アンプの放熱部に手を触れない やけどの原因となることがあります。
強制	
	音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
強制	
	リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。
強制	
	モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する ケガの原因となることがあります。
指のケガに注意	

電池は正しく使う

	警告
	事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
強制	
	電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる 電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
強制	
	電池の液漏れが発生した場合は 皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。
強制	

	注意
	電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない 電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
禁止	
	乾電池は充電しない 電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。
強制	
	指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない 電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
強制	
	使いきった電池はすぐに交換する 液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
強制	

異常時の問い合わせ

	警告
	万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
強制	

おもな仕様

パワーアンプ部	
最大出力：	250 W × 2 (4 Ω、2 ch) 600 W × 1 (4 Ω、1 ch BRIDGE)
定格出力：	125 W × 2 (14.4 V、20 Hz～20 kHz、≤0.8 % THD、4 Ω) 300 W × 1 (14.4 V、1 kHz、≤0.8 % THD、4 Ω BRIDGE) 150 W × 2 (14.4 V、1 kHz、≤0.8 % THD、2 Ω)
負荷インピーダンス：	4 Ω (2 Ω～8 Ω使用可能)
周波数特性：	10 Hz～50 kHz (+0 dB、−3 dB、4 Ω)
S/N比：	105 dB
高調波歪率：	<0.004 % (4 W、1 kHz)
セパレーション：	70 dB (10 W、1 kHz) 65 dB (10 W、100 Hz～10 kHz)
ゲインコントロール：	400 mV～6.5 V
最大入力レベル／インピーダンス	
RCA：	6.5 V／22 kΩ

一般


使用電源：	14.4 V DC (10.8 V～15.1 V使用可能)
アース方式：	マイナスアース方式
消費電流：	23 A (定格出力時、4 Ω) 1.1 A (無信号時)

平均消費電流*：	6.4 A (2チャンネル時、4 Ω) 4.1 A (1チャンネル時、4 Ω) 8 A (2チャンネル時、2 Ω)
ヒューズ：	30 A

外形寸法 (W × H × D)：	255 mm × 50 mm × 104 mm
質量：	1.6 kg

付属品

取付キット：	1式
取扱説明書：	1
保証書：	1

	メモ ●上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
---	---


※	平均消費電流とは、音声信号を入力したときに本機が消費する最大に近い平均電流です。複数のパワーアンプをご使用になるときに、総消費電流の算出にご利用ください。
---	---


Hi-Res AUDIO


ハイレゾ品質で音楽を聴くためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

安全のために


	感電事故を防止するために ●濡れた手で本機に触らないでください。感電するおそれがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。 ●感電事故を防止するため、濡れやすい所には本機を取り付けしないでください。
---	--

	音量は控えめに ●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
---	--

	安全にご使用していただくために ●ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります(バッテリーパワーコードのヒューズは30 A×2、本機のヒューズは30 Aです)。 ●本機には、本機およびスピーカーの故障を防止する、保護機能があります。 以下の状態の場合、出力をミュートします(音が出なくなります)。 ー スピーカー端子にDC電圧が発生した場合 ー 製品内部電源の電圧に異常があった場合 ー スピーカー出力端子またはスピーカーコードがアースに接続した場合
---	--

以下の状態の場合、パワーインジケーターが消え、アンプがシャットダウンします。	
ー 製品内部の温度が高くなった場合	
ー 入力電圧が異常になった場合	

このようなときはシステムの電源を切り、電源およびスピーカーの配線をチェックし、保護機能が働いた原因を解決してください。
●ヒューズが切れた原因や保護回路が働いた原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

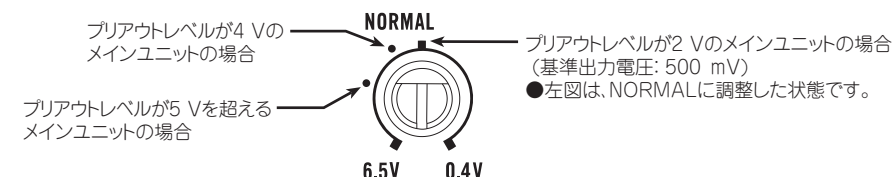
	接続・取り付けに関するご注意 ●接続／取り付けの作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。 ●本機の放熱効果を損なわないように、次のことに注意して取り付けてください。 * 本機を風通しの良い所に設置してください。 * フロアマットやカーペットなどで本機を覆わないでください。
---	---

- 本機は必ず平らな場所に取り付けてください。平らでない場所や突起物の上には取り付けないでください。故障の原因となります。
- 本機を取り付ける際は、ネジなどの部品を挟み込まないように注意してください。故障の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類／タンク／電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ショート事故防止のため、端子やコードが足や荷物に当たらないように設置してください。
- 本機を持ち運ぶ際は中央をお持ちください。ターミナルカバーを持つと、カバーが外れて本機が落下する恐れがあり、ケガの原因となります。

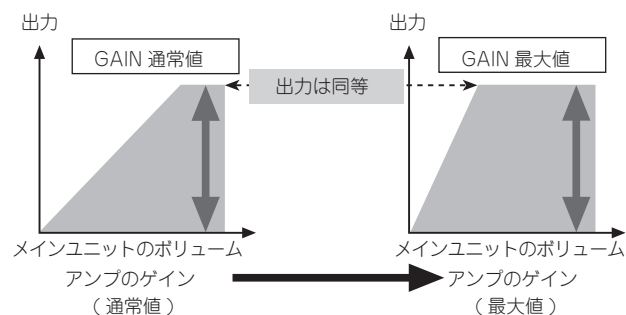
各部のなまえと使いかた

ゲインコントロールの設定

- この製品には、過大出力、誤配線、および誤使用などから本機やスピーカーを保護する機能があります。
- この保護機能により、大音量で音楽を再生しているときに、数秒間音声途切れることがあります。ただし、メインユニットのボリュームを下げたときに、音声が途切れず再生される場合は故障ではありません。
- 音声が途切れて再生される場合は、アンプの「ゲインコントロール」が正しい位置に設定されていない可能性があります。このときは、次の操作を行ってください。
 - ・メインユニットの最大プリアウトレベルに合わせた「ゲインコントロール」位置に設定することで、出力を下げずに、大出力をコントロールできます。
- 次の場合は、最寄りの修理受付センターにお問い合わせください。
 - ・メインユニットのボリュームを下げて音声が途切れる
 - ・アンプの「ゲインコントロール」を正しい位置に調整しても音声が途切れる

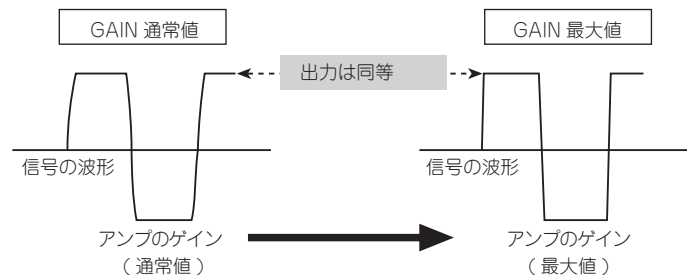


アンプのゲインとメインユニットのボリュームの関係



- アンプのゲインコントロールを必要以上に上げて、出力される音声レベルは変わりません。ただし、音声の歪みが増加します。

アンプのゲインでボリュームを大きく出力した場合の信号の波形



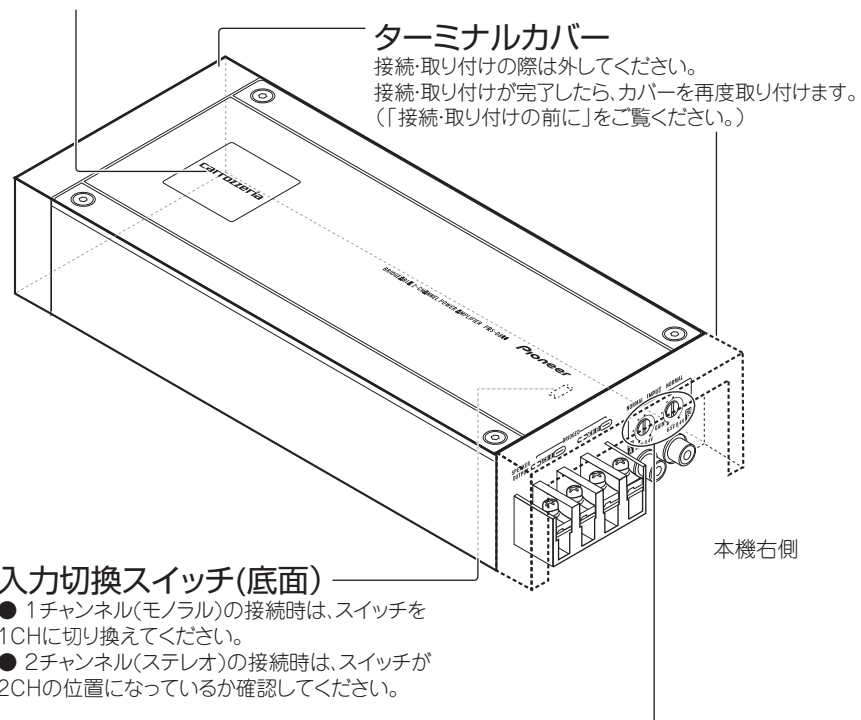
- 過大な出力によって波形に歪みが生じている場合は、アンプのゲインコントロールを上げて、出力される音声レベルは変わりません。

本機に接続するスピーカーの使用目的に合わせて正しく設定してください。

- 入力切換スイッチやゲインコントロールを切り換えるときは、必要に応じてマイナスインプリなどを使用してください。

パワーインジケータ

本機に電源が入ると点灯します。



ゲインコントロール

接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるために使います。本機と組み合わせているカーステレオのボリュームを上げて音量が不足していると感じたときは、ゲインコントロールつまみを右側に回します。また、ボリュームを上げたときに歪みを感じる際には、ゲインコントロールつまみを左側に回してください。

- RCA入力チャンネルAのみを使用してブリッジ(モノラル)接続するときは、チャンネルAとチャンネルB用のゲインコントロールつまみを同じ位置にしてください。
- パイオニア製のRCA出力付きカーステレオ(基準出力電圧500 mV)と組み合わせるときは、NORMALの位置が目安になります。RCA最大出力が4 V以上のパイオニア製のカーステレオと組み合わせるときはゲインコントロールを左側に回して調節してください。

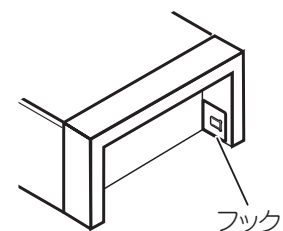


接続・取り付けの前に

本機を接続して取り付ける前にターミナルカバーを取り外す必要があります。以下の手順に沿ってカバーを取り外し、本機を取り付けた後はカバーを付けてください。

3 ターミナルカバー下部を内側に向かって押します

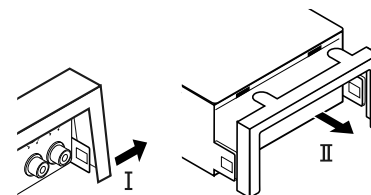
側面のフックが差し込まれているか確認してください。



取り外しかた

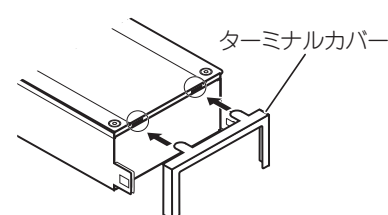
1 ターミナルカバーの下側側面を広げながら(I)、手前に引き出す(II)

プラスチック製のターミナルカバーのみを外側に開いて取り外してください。



取り付けかた

1 ターミナルカバーを広げながら、本機上部の差し込み口に入れます



2 ターミナルカバー上部の両端を押して、差し込まれているか確認します

接続のしかた

接続上のご注意

- 本機の電源は、必ず RD-226 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-226 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-226 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)
- 芯線をむき出したままのコードを、本機の電源端子 (パワー端子、アース端子、システムリモートコントロール入力端子) に接続しないでください。芯線が外れたり切れたりして、発火やショートの原因となります。
- コードを接続した端子ネジは、時間がたつと緩むことがあります。端子ネジが緩んでいないか定期的に点検してください。また、必要に応じて端子ネジを締め直してください。
- スピーカーコードは、太さが 10 AWG ~ 16 AWG のものを使用してください。
- スピーカーコードを直接アースに接続したり、複数のスピーカーの ⊖ リード線を共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーは、次の規格のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、発火・発煙・破損の原因となります。なお、インピーダンスが 2Ω から 8Ω (ブリッジ接続の場合 4Ω から 8Ω) のスピーカーを使用してください。

スピーカー		規格 (耐入力)
チャンネル	種類	
2 チャンネル	サブウーファー	定格入力 125 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 250 W 以上
1 チャンネル	サブウーファー	定格入力 300 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 600 W 以上

- カーステレオの電源を ON にしたままで長時間アイドリングを行っている時、バッテリーがあがるおそれがあります。アイドリング中はカーステレオの電源を OFF にしてください。
- RD-226 (別売) の青 / 白リード線 (システムリモートコントロール) を、エンジンスイッチを ON または ACC の位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続する場合、カーステレオの電源を OFF にしても、本機の電源は OFF になりません。この状態のまま長時間アイドリングを行っている時、バッテリーがあがるおそれがあります。

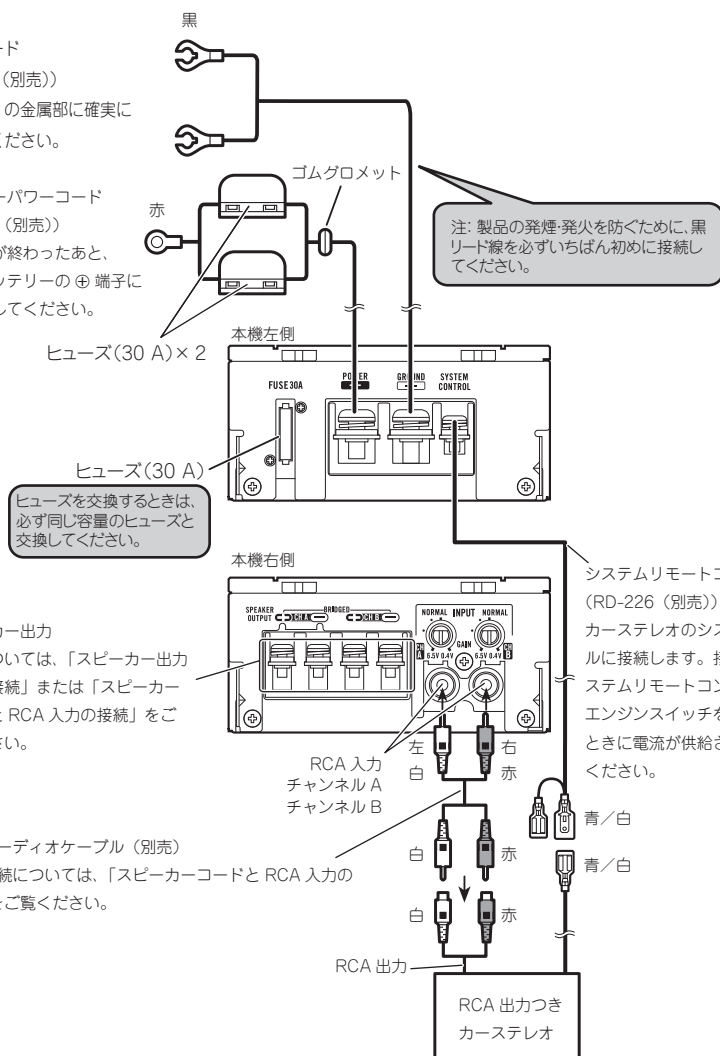
メモ

- アースコードを確実に接続するため、塗装されている部分に接続する場合は、あらかじめサンドペーパーなどで塗装をはがしてください。

- バッテリーパワーコード (赤) は、スピーカーコードからできるだけ離して取り付け、配置してください。また、バッテリーパワーコード、アースコード、スピーカーコード、および本機は、アンテナ、アンテナコード、およびカーステレオからできるだけ離して取り付け、配置してください。

アースコード
(RD-226 (別売))
車のボディの金属部に確実に
接続してください。

バッテリーパワーコード
(RD-226 (別売))
他の接続が終わったあと、
最後にバッテリーの ⊕ 端子に
直接接続してください。



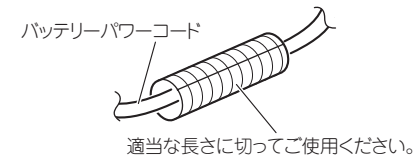
スピーカー出力
接続については、「スピーカー出力
端子の接続」または「スピーカー
コードと RCA 入力の接続」をご
覧ください。

RCA オーディオケーブル (別売)
RCA 接続については、「スピーカーコードと RCA 入力の
接続」をご覧ください。

システムリモートコントロール
(RD-226 (別売))
カーステレオのシステムリモートコントロ
ールに接続します。接続するカーステレオにシ
ステムリモートコントロールがない場合は、
エンジンスイッチを ON または ACC にした
ときに電流が供給される電源端子に接続して
ください。

電源コードの接続

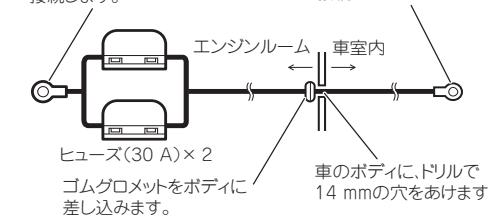
- 本機の電源は、必ず RD-226 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-226 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-226 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)



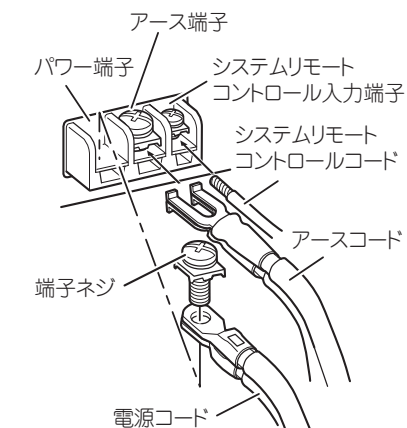
1 バッテリーパワーコードをエンジンルームから車室内へ通します

- ショート事故防止のため、バッテリーパワーコードのバッテリーへの接続は、他の接続が終了したあとに行ってください。

他の接続が終わったあと、
最後にバッテリーの ⊕ 端子に直接
接続します。



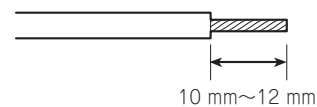
2 各端子にコードを接続します



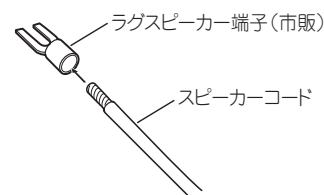
スピーカー出力端子の接続

●スピーカーコードは、太さが10 AWG ~ 16 AWGのものを使用してください。

1 スピーカーコードの芯線をニッパーやカッターなどで10 mm ~ 12 mm くらいむき出します

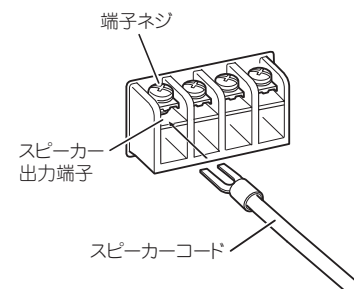


2 市販されているラグスピーカー端子をスピーカーコードの先に付けます



3 スピーカー出力端子にスピーカーコードを接続します

端子ネジでしっかりと固定してください。

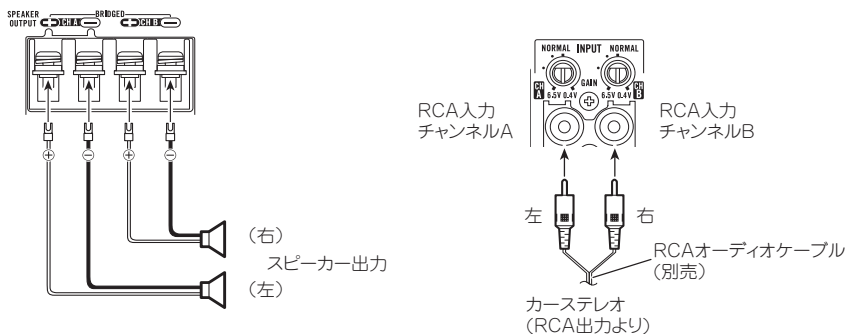


スピーカーコードとRCA入力の接続

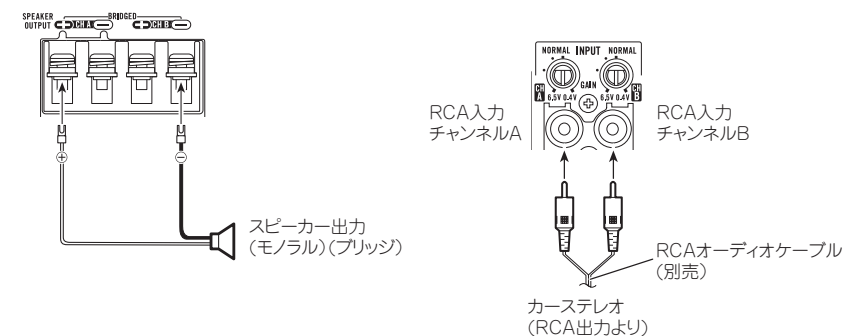
本機は、2チャンネルまたは1チャンネルのいずれかのRCA入力で使用できます。図を参考に、使用目的に合わせて接続してください。

2チャンネル(ステレオ)入力時の接続例

2つのスピーカーに接続する場合(左、右)



1つのスピーカーに接続する場合(ブリッジ接続)

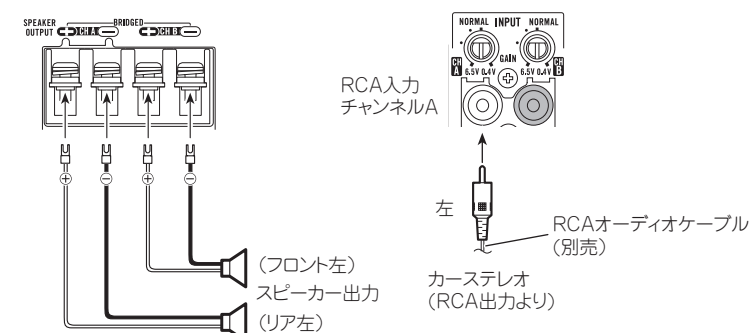


1チャンネル(モノラル)入力時の接続例

1チャンネル(モノラル)接続の場合、入力切換スイッチを1CHに切り換えてください。スイッチについては、「各部のなまえと使いかた」をご覧ください。

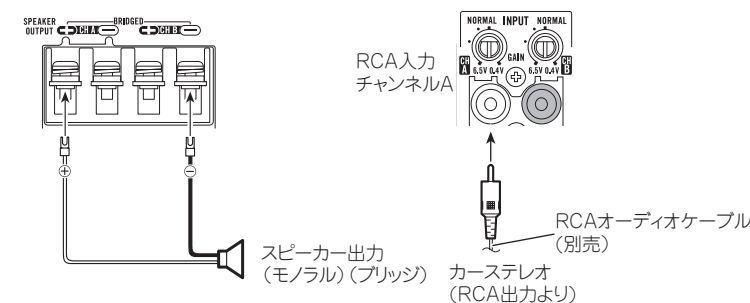
1チャンネルのみを使用する場合、RCA入力端子のチャンネルAに接続してください。

2つのスピーカーに接続する場合(フロント左、リア左)



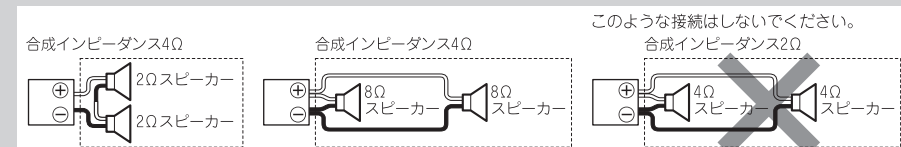
チャンネルAに入力した音が、両方のスピーカー出力から出ます。

1つのスピーカーに接続する場合(ブリッジ接続)



ブリッジ接続時のご注意

●ブリッジ接続時に複数のスピーカーを使用する場合は、発火・発煙・破損を防ぐために、合成インピーダンスが4Ωから8Ωになっていることを確認してください。

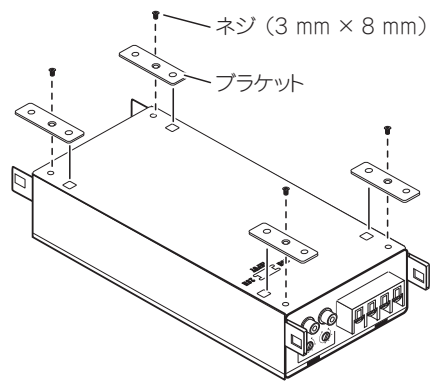


取り付けのしかた

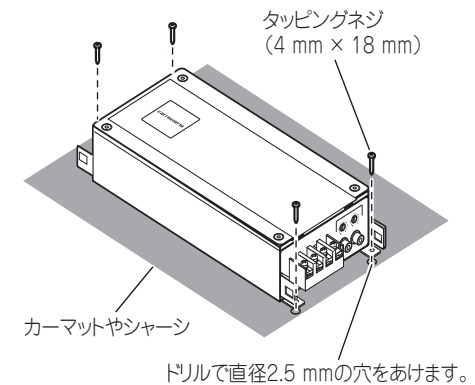
📌 取り付け・固定の前に

- まず仮接続をし、本システムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続・設定に誤りがないか、ヒューズが切れていないか、もう一度チェックしてください。
- 車に取り付けた状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。

1 本機の裏側にブラケットを付けます



2 本機を取り付けます



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認します

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタが確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかけます

3 本機の動作を確認します

本機およびシステムが正常に動作することを確認してください。(各スイッチの設定については、「各部のなまえと使いかた」をご覧ください。)動作しない場合は、接続に誤りがないかもう一度チェックしてください。

故障かな?と思ったら

ちょっとした接続・設定のミスなどで故障と間違えることがあります。故障かな?と思ったら、次のことを行ってください。

1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください

2 接続・設定にミスがなかった場合は、「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

分解はしないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、本書の「修理についてのご相談窓口」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着 (お取り外し・お取り付け) について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります) 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

■電話 《カーオーディオ/カーナビゲーション商品》
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
【固定電話から】0120-944-1111(無料) 【携帯電話・PHSから】0570-037-600(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7540(IP電話・有料)
※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております。

《楽ナビ:バージョンアップ、ダウンロード、ナビスタジオ操作相談》
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
【固定電話から】0120-702-383(無料) 【携帯電話・PHSから】0570-037-601(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7541(IP電話・有料)

■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)
■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■電話 【固定電話から】0120-5-81028(無料) 【携帯電話・PHSから】0570-037-610(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7550(IP電話・有料)

■ファックス 0120-5-81029(無料)
■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>
※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■電話 【固定電話から】0120-5-81095(無料) 【携帯電話・PHSから】0570-057-140(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7551(IP電話・有料)

■ファックス 0120-5-81096(無料)
■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>
※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.05